

連結会計 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 親会社の埼玉商事(株)の売掛金期末残高のうち¥500,000 が子会社の浦和商事(株)に対するものである。連結上必要な仕訳を行う。
2. 親会社の埼玉商事(株)は、1. の売掛金期末残高に対して 3% の貸倒引当金を設定している。連結上必要な仕訳を行う。
3. 親会社の埼玉商事(株)は、当期において子会社の浦和商事(株)に対して商品を販売しており、その売上高は ¥3,000,000 である。なお、子会社である浦和商事(株)の埼玉商事(株)からの商品仕入高は ¥3,000,000 である。
4. 親会社の埼玉商事(株)は、子会社の浦和商事(株)に対して ¥2,000,000 の貸し付けを行っている。連結上必要な仕訳を行う。
5. 4. について、子会社の浦和商事(株)は親会社の埼玉商事(株)に対して、1 年分の利息（利率年 3%）を支払っている。
6. 親会社の千葉商事(株)の売掛金期末残高のうち ¥800,000 が子会社の松戸商事(株)に対するものである。連結上必要な仕訳を行う。
7. 親会社の千葉商事(株)は、6. の売掛金期末残高に対して 2% の貸倒引当金を設定している。連結上必要な仕訳を行う。
8. 親会社の千葉商事(株)は、当期において子会社の松戸商事(株)に対して商品を販売しており、その売上高は ¥5,000,000 である。なお、子会社である松戸商事(株)の千葉商事(株)からの商品仕入高は ¥5,000,000 である。
9. 親会社の千葉商事(株)は、子会社の松戸商事(株)に対して ¥3,000,000 の貸し付けを行っている。連結上必要な仕訳を行う。
10. 9. について、子会社の松戸商事(株)は親会社の千葉商事(株)に対して、1 年分の利息（利率年 4%）を支払っている。

連結会計 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	買掛金	500,000	売掛金	500,000
2	貸倒引当金	15,000	貸倒引当金繰入	15,000
3	売上高	3,000,000	売上原価	3,000,000
4	借入金	2,000,000	貸付金	2,000,000
5	受取利息	60,000	支払利息	60,000
6	買掛金	800,000	売掛金	800,000
7	貸倒引当金	16,000	貸倒引当金繰入	16,000
8	売上高	5,000,000	売上原価	5,000,000
9	借入金	3,000,000	貸付金	3,000,000
10	受取利息	120,000	支払利息	120,000

【解説】

2. $¥500,000 \times 3\% = ¥15,000$
5. $¥2,000,000 \times 3\% = ¥60,000$
7. $¥800,000 \times 2\% = ¥16,000$
10. $¥3,000,000 \times 4\% = ¥120,000$